

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和5年度)

調査表

施設名	宮崎港マリーナ施設宮崎県サンビーチーツ葉
指定管理者	マリンパークス
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 港湾課

1 施設利用状況

指標	R5	R4	R3	増減理由等
年間利用者数(人)	288,600	293,700	216,800	当施設は広大な太平洋を眺める臨海公園である。コロナ禍も落ち着き、屋外施設利用の需要が高まり、多くの方が当施設を訪れたためと考えられる。
海水浴期間のサンビーチーツ葉利用者数(人)	62,900	56,900	37,000	
コメント	年間利用者がコロナ禍以前よりも増加していること(H29:約280千人、H30約250千人、R元:約230千人)、また、過去最高となった令和4年度には届かなかったが、目標であった290千人に近い年間利用者となっており、施設運営が評価できる。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R5	R4	R3	支出	R5	R4	R3
指定管理料	111,985	113,286	103,412	人件費	64,368	59,416	51,642
利用促進事業収入	72,279	73,255	54,939	需用費、役務費	15,098	15,272	13,131
自主事業収入	339	602	1,948	委託料・使用料等	24,970	24,147	23,253
				一般管理費	11,199	11,329	10,341
				利用促進事業支出	68,369	67,459	59,340
				自主事業支出	411	666	2,441
合計(①)	184,603	187,143	160,299	合計(②)	184,415	178,289	160,148
収支差額(①-②)	188	8,854	151				
コメント	収入については昨年度に引き続き利用促進事業の収入が多く、努力が見られる。支出については人件費高騰の影響を受け、昨年度よりも6百万円の増額となっている。全体としては収支差額について黒字となっており、評価できる。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和5年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃(毎日実施)
	保守・点検	クレーン・クレーン・サンプル点検(年次点検:年4回、保守点検:毎日)、電気設備(毎月)、公園内遊具の点検
	警備	夜間常駐警備、夜間巡回警備実施(日3回)
	修繕	電気系統修繕、遊具修繕、漏水修理、ビーチ施設等修繕等
	備品等管理	備品台帳の整備及び補修の実施
	安全対策	パトロールの実施(毎日)、マリーナ航路情報の提供、航路水深検測、安全放送呼びかけの実施、津波警報発令時における情報伝達及び避難訓練の実施
	その他	危険区域侵入者や夜間の不審者への直接指導と警察への速やかな通報の実施
企画運営業務	サービス提供体制整備	年中無休化・開園時間延長の継続、サンビーチーツ葉シャワー室の通年利用化、ホームページの更新、公園パンフレット(英訳版)の作成、パーベキュー広場WEB予約システムの導入、サイクリング・ジョギング・ウォーキングマップの更新、ビーチバーガーハウスの営業時間延長
	イベント等ソフト面充実	マリーナ・ビーチにおける自主事業の実施(フリーマーケット、親子つり大会、ヨガ教室、パーベキューグッズレンタル、命の丘天体観測会等)。南ビーチのイルミネーション実施
	施設設備等ハード面充実	ミスト・スプリンクラー設置(海水浴期間中)、無料休憩施設の開設、AED設置及び安全教育の実施、掲示板の設置(マリンセンター、北ビーチ、艇庫)及び気象情報、潮汐情報、航路状況)の提供
	その他	赤ちゃんの駅への登録、海の駅への登録、サンビーチボランティアの立ち上げ
管理運営体制	利用者へ安心で安全な公園が提供できるよう、全施設において的確な人員を配置した。	
コメント	施設の維持修繕を随時行うとともに、夜間常駐警備や津波避難訓練の実施など、適切な維持管理業務に努めている。また、期間限定でビーチバーガーハウスの営業時間延長や南ビーチでのイルミネーションを実施(12/1～1/1する)など、利用者へのサービス提供に務めている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
	施設の維持・修繕・故障に関する要望	苦情のあった施設修繕の早急な対応と安全対策の実施。
	イベントに関する要望	今後のイベントに活かせるものは反映させる。

5 総合評価

評価コメント	利用者満足度アンケート回答では、「公園管理」「スタッフ対応」については「とても良い」「良い」で100%となっており評価できる。また、サービス提供やイベント実施を適切に行い、昨年度に引き続き多くの利用者が訪れるなど、適切な運営が行われていると評価できる。
今後の課題と対応	施設老朽化が進んでいるため、現場サイドでは更なる施設の安全点検の徹底や迅速な維持修繕が求められる。より一層、県担当者と連携し、計画的な修繕計画の策定と事業化に向けた取組を行っていく必要がある。